

THANK

10月15日号
地域連携室発行

退院後も

つながります

あなたの

ことごとからだ

朝夕の肌寒さに秋の深まりを感じる今日この頃ですが
皆さんは風邪などひいていませんか？ めっきり秋らしくなりましたね。
暑さも和らいで過ごしやすくなった日中や秋の夜長みなさんはいかがお過ごしでしょうか…
スポーツの秋、学問の秋、読書の秋などなど…いろんな秋がありますが、
自分を高めるために何か始めませんか？ 今日もまた、頑張って資格を取得された方にお話をうかがいました。



特集！有資格者に聞く！

中材・手術室看護師 香山純子さんの 第2種滅菌技士 について

香山さん、今日はありがとうございます。

手術室に配属されて3年ということですが、この第2種滅菌技士という資格をさっそく取得されたとか…この資格は中材・手術室では必要な知識・技術なのでしょうね。

Q：まず、どうしてこの資格を取ろうと思われたのでしょうか？

A：院内学習発表会で滅菌について勉強していて、この資格の事を知り、もっと、最新の医療現場の滅菌のことを知りたいと思ったからです。以前のオートクレーブがとても古く、よく壊れていたので原因を知りたいというのもあります。



播磨病院では毎年、秋に院内学習発表会として各部署で研究や学習したことをまとめ、発表しているのですが、去年は香山さんが中材・手術室から滅菌のことについて発表されていましたね。

1つのことを掘り下げて疑問が浮かんだ時は詳しく知りたくなりますよね。

Q：では、この資格、どのような内容の資格なのか、教えていただけますか？

A：日本医科器械学会が認定している資格で、第1種と第2種があります。
この制度は、医療施設に関連した滅菌供給の知識と実践に優れた技士を養成し、学会として認定する事により、人類の健康と福祉および医療の安全に貢献することを目的としているそうです。

Q：受験勉強をされる上で苦労したこととかはありますか？

A：中材で勤務して3年経っていたので、ある程度滅菌については知っていたつもりでしたが、もしもテストに落ちていたら・・・と不安でした。
そのプレッシャーと戦いました。

Q：では、勉強や受験にかかった費用はいくらですか？

A：テキスト代…3000円 学会入会費…7000円 受験料…10000円
認定料…20000円の合計40000円です。

Q：また、勉強に当てた期間はどれくらいでしょうか？

A：毎日テキストを開いて勉強するということはありませんでしたが、毎日滅菌を担当しているので自然と知識が身についたのかもしれない。
あと、テストの当日に講義を受けました。

Q：資格の更新に必要な手続きとかはありますか？

A：4年間で30単位取得しないと更新できません。
その単位の取得ですが日本医科器械学会が推奨するセミナーなどに参加したり、学会への参加や発表をすることで取得できます。
ただ、そのセミナーの会場は遠方が多く、なかなか参加できませんが、今、私は28単位を取得しています。

4年間で30単位のところをもうすでに28単位取得しているとは、すごいですね。
今後がんばってくださいね。

Q：最後に、今後の抱負についてお聞かせ下さい。

A：中材、手術室以外の人からは、なぞの多い《滅菌》について、できるだけ多くの人に知ってもらいたいと思っています。

今はオートクレーブやガス滅菌機に、《萌え〜》です。(笑)

今度は第1種滅菌技師に挑戦しようと思っています。p(^ ^)q

最後に、なかなか心強いお言葉をお聞きすることができて、とてもうれしいです。

自分のため、職場のため、がんばって挑戦して頂きたいと思います。ありがとうございました。

後ろの機械は
新しいオートクレーブ
です♡♡



さて…次回のTTAK新聞は…

来月も「有資格者に聞く！」として

透析室・臨床工学技士 有田 誠二さんの

「第2種ME技術実力検定」についてです。

みなさん、おたのしみに！！



TTAK新聞のバックナンバーは

播磨病院ホームページ <http://www.harima-hp.jp/main.htm> からご覧になれます。

By:Y. Y.

